

Council of Social Welfare

大 淀 町

えがおで介護
こころのネットワーク
きんしんサポート

社協だより

平成26年

10月号



ふれあい活動センター
台同敬老会の風景
(平成26年9月1日開催)



発行所／社会福祉法人 大淀町社会福祉協議会

〒638-0821 大淀町下淵1223番地 TEL 0747-52-1941

社協だよりは、共同募金の配分金により作成しております

「第2次おおよどアクションプラン」で地域を元気にいきいきと！

★「町民のくらしと地域福祉に関する実態調査」にご協力ありがとうございました★

●「第2次おおよどアクションプラン」地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定しています。

前号では、現在の多様化・複雑化する地域の福祉課題をふまえて、地域福祉を推進するために、行政と社協が一体となって第2次おおよどアクションプランを策定していることをお伝えしました。

この計画は、福祉に関する活動を行っている方々や、地域で暮らしている住民の皆様と協力して地域福祉を進めるものであるため、計画づくりにもできるだけ多くの方々に参加していただき一緒に策定していくことを重視しています。現在は、策定委員会や職員による企画会議を重ねて計画策定作業を進めています。

より多くの住民の皆様は活動に関わっていただけるよう、魅力ある計画を進めてまいりますので、「ご支援・ご協力をお願いします。」



●実態調査を行いました。

8月4日から8月9日にかけて、計画づくりの一環として、区長会並びに地区の一部の住民の皆様にも、実態調査にご協力いただきました。（町内23地区523世帯を対象に実施しました。）

この調査は、行政、社協の職員と大谷大学の学生が調査員として一軒一軒ご自宅を訪問し、直接お目にかかりお話を聴かせていただきながら、回答いただくという方法で実施しました。地域の皆様にとっては突然の訪問となったことと思えます。調査にご協力いただいた皆様には、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

今回の調査の目的は、今後の地域福祉を進める上で、①住民の皆様はどのように暮らされているのか、②地域にはどのような課題があるとお考えになられているのか、③実際にどのような活動に参加されているのか、を明らかにすることでした。具体的には、今後集計を進める中で明らかになってきます。この調査でお寄せいただいた声は、第2次おおよどアクションプラン策定に向けて、大切な資料として活用させていただきます。

学生の感想



皆さんそれぞれが住んでいる地域のことを考えておられ、私も自分の地域の良い所や課題を見つけていきたいと刺激を受けました。

行政や社協にくらしの要望を求めるのではなく、住民同士で助け合うことが大事だと考えられている方もおられました。

農村部では、不便さを感じていても、近所の人とのつながりや助け合いがあるので住みやすいと言われていたのが印象的です。



皆様のこの声がかこれからの地域福祉に役立てられたいいな。

「遠い親戚よりも近くの他人」という言葉が心に残りました。



じぶんの町をよくするしくみ

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします



赤い羽根共同募金がはじまりました。

10月になると町で見かける赤い羽根。赤い羽根共同募金は、今年で68回目を迎えます。

この募金は、地域住民の福祉によるまちづくりを支援することを目的に10月1日～12月31日まで全国一斉に行われます。また、12月には歳末たすけあい募金もあわせて行われます。

スローガンである「じぶんの町をよくするしくみ」に示されているように大淀町で集まった募金の70%が町内の福祉事業に使われ、残りは県内の福祉事業に使われています。

共同募金は、地域の皆様にご協力をいただき支えられ、私たちの地域の多様な福祉活動を財政面から支援する大きな役割を果たしています。

社協も共同募金が地域を良くするための財源として、さらに発展するよう尽力してまいりますので、今年も赤い羽根共同募金にご協力よろしく願います。

募金の使いみち

～募金の約70%が大淀町で使われます～

- ・小中学校でのボランティア活動への助成
- ・ちいきふれあいサロン活動への助成
- ・社協だよりやホームページの作成などに活用されています。



サロン活動の風景



募金の方法

戸別募金	区長会の協力を得て各世帯にお願いしています。
街頭募金	駅前や店先で募金の協力を呼びかけています。
職場募金	企業・各種団体などで働くみなさんをお願いしています。
学校募金	町内の小・中学校の生徒のみなさんをお願いしています。



募金の流れ



今年度の大淀町の目標額

1,709,000円

- ①大淀町の地域福祉のために 1,152,200円
- ②奈良県内の社会福祉のために 556,800円

今年もみなさまのあたたかいご協力をお願いします。



「まち婚 in おおよど」開催しました!!

7月19日(土)町文化会館にて、「まち婚 in おおよど～夏だ、花火だ、ドーンと恋!～」を開催しました。男性22名、女性24名の参加があり、ゲームやフリータイムなどの楽しい時間を過ごされました。司会には桂勢朝さんをお招きし、町ボランティア連絡協議会、町民生児童委員協議会の方々にご協力いただきながら、会場は終始なごやかな雰囲気でした。なんと、カップルは9組誕生しました。

町内のお店にもご協力いただき、スイーツや町内の特産物を使った食事、最後には花火大会…大淀町の魅力をたくさんの方に知って頂けたと思います。

今後も、イベントを通じて「出逢い」「地域の活性化」「グルメ」等、色々な場面で町の良さを知っていただけるよう企画していきたいと考えています。



あんしんメール

～頼れる地域のサポーター～

高齢者にとって身近な「薬」でも、意外と知らないことは多いものです。薬について今さらきけないことを、今回も簡単な解決方法とともに紹介します。

●どうやって保管？
高齢者の方は長期的にお薬を飲んでいらっしゃる方も多く、長い場合は3カ月分の薬が処方されることもあります。この場合どうすればいいのでしょうか。

●冷蔵庫の活用
薬の成分である科学物質は、様々な条件に影響されて成分変化を起こします。変化した薬は、今までの効果も期待できなくなってしまう可能性があります。

●使用期限は？
市販薬は外箱に記載されていますが、処方薬は使用期限がつかれていません。処方薬の場合、多くは医師の処方された日

介護のための「薬のはなし」その2

薬の保存と使用期限について

が大切になります。温度や湿度が低い場所、物が繁殖しにくい場所、すなわち、冷蔵庫が良いとされています。ただし、食品としっかり区別して管理してください。



「あんしんサポーターでは（地域包括支援センター）「家族介護者教室」や「出前講座」などでもお話ししますので、お気軽にご相談下さい。

たくみ匠 ～地域で働く元氣人～



神前 憲尚さん（新野区）

今回は、「大調査の紹介」の代表者として、大淀町文化財保存会を仲介して、川口先生に、町内文化財の保存活動についてお話を伺います。

主な活動内容は、遺跡の見学道の整備や草刈りをはじめ、より多くの人に町の文化財について理解と愛着を深めてもらうため勉強会や講座を開催されています。また、古墳の調査や新たに発見された埋蔵品の研究、文化祭での伝統品の展示等を行い、文化財の保存と活用で地域の保存・継承と活性化につながる活動を行っていらっしゃいます。

匠のひと言

出てきた埋蔵品を会のメンバーで、「いつの時代に何に使われていたのか」等を詮索することは楽しいことです。また、文化祭で多くの方が伝統品の展示にふれる様子を見させていただけることに嬉しく思っています。古くから残された文化財を守り、伝承していく活動に携われることにやりがいや喜びを感じています。



なかで
中出司法書士事務所
大淀町土田二八四一九 ライフ・コーナン横
JA西部支店前
☎0774-751165
☎0774-751167

各種登記のことなら（相談）
無料（）

あとがき

秋といえば「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」「行楽の秋」「芸術の秋」など様々ですが、皆さんは何を連想されますか？
私の秋は、もちろん「食欲の秋」。
焼き芋、新米、のびのびと、をたくさん食べることが楽しみです。
秋のさわやかな好季節。新たなことにチャレンジしてみたいものです。（もり）

